

10:10~10:20 休憩時間に実施 (10:15頃地速報の音源放送)

「地震発生アナウンス」 訓練だということと、身を守るための行動を促す

○良かった点

- ・放送されると遊んでいる子も含め全員動きを止めて放送を聞く (通常放送でも同じ!)
- ・運動場で遊んでいた子たちはその場でほとんどの子が低い姿勢をとった
(先生の「しゃがんで!」の声で全員がしゃがんだ)
- ・教室にいた子たちはすぐに机の下にもぐり机の脚につかまっていた
- ・地震が治まったという放送後、運動場の児童は駆け足で指示された場所に移動した
- ・教室の児童は先生の指示で速やかに廊下に整列し、慌てず運動場へ移動した
- ・避難時、先生がトイレに声かけ、誰もいないかの確認をした
- ・整列してからの点呼も早かった



抜き打ちの避難訓練にもかかわらず、先生・児童たちの「すばらしい!」対応でした



○岡校長先生の講評 (一部割愛)

- ・防災では3K「考える」「気づく」「行動する」ことが大切であること
危険に際して「判断力」をつけて欲しい
- ・3/11は15年前東北大震災があった日で亡くなられた方を悼むために、校庭の国旗を半旗として掲げた

○振り返り

- ・各教室に帰りクラスごとに振り返りを行った
こんな時はどうするかとか、いろいろなケースを想定した話が出た
ケガをしているとき、ジャングルジムの上にいる時とか
机に広げていたものはどうするか、ドアは開いたままで良いか 等々

○気づき

- ・教室及び避難経路にモノが置いてあったり落ちてくるようなところはなかった
但し、廊下の照明がむき出しの天吊りなので地震時落ちてくる可能性あり
- ・教室内のモニター及びキャスターのついた教台は地震時落ちたり暴走するので注意
- ・「自分の席に戻ってしゃがんでいた子がいた」という先生の話あり
~窓際、モニター前の席の子は危険なので、中央に移動してしゃがむこと

*大切なのは危険予知能力「気づき」とそれに対する方法を判断する力「考える」
そして一番良い方法をとる「行動をする」こと

